

# あなたの安心

山梨県の河口湖畔にある富士レークホテルは、早くからバリアフリー化に取り組んでいる。75の客室のうち、車いすの人なども使いやすい工夫が凝らした客室が23ある。客室の入り口は段差のない引き戸。部屋番号は通常より大きめで見やすい。車いすで動ける空間があり、スロープや手すりもある。

食事もききこみ食などを提供できる。「一言でからだか不自由と言っても、それぞれ違う。100%の満足は永遠の課題だが、声をかけてもらえれば、できる限り対応したい」と同ホテル予約リーダーの渡辺明好さん。

高齢の客にやさしい宿になるろうと、全国旅館生活衛生同業組合連合会（全旅連）は93年から「シルバースター」登録を進めている。

シルバースターの宿になるためには、浴室やトイレには必要に応じて手すりなどを設

## 宿泊先に希望や事情伝えて

### 高齢の親と旅する④

置▽共同トイレ内には非常時の連絡設備▽従業員に高齢者に接する際の教育を行う、など一定の基準を満たさなければならぬ。

現在、書類審査を通った約1千の宿泊施設が登録されている。全旅連はホームページで各施設を案内している。だが、それぞれの施設によって取り組みにはらつきがあるのが現状で、「各施設の設備の詳細を載せていきたいと思っているが、電話で個別に確認していただきたい」と全旅連。

### 高齢者に優しい宿とは？

- ① 手すりやスロープを設置
- ② ベッド・洋式トイレがある
- ③ 高齢者向けの食事を提供

バリアフリーの設備例（ともに富士レークホテル）



手すりがついた客室のトイレ  
座シャワーを備える浴室

The Asahi Shimbun

予約するときは、こちら側の情報を宿泊先などに提供することも忘れてはならない。

事前に、どんなケアが必要かをきちんと伝えることで、「こんなハズじゃなかった」とい

という旅先での失望を防ぐことができる。

「旅館の食事は量も品数も多くて食べきれない」。そんな悩みをよく聞くが、事前に量や品数の調整を宿泊先と相談してみたい。

そして温泉。大浴場に入る際には、湯船の深さや縁の高さなどは確認しよう。シャワーチェアやスロープを備えるところもある。大浴場での入浴を不安に感じる人には、露天風呂付きの部屋や貸し切りの家族風呂を備えているところもある。（及川綾子）

〓次は20日から「親子でキャンプ」です。